

Google Classroom マニュアル ルーブリックの活用

情報処理センター
2020年度 作成

1

ルーブリックとは

- ある課題をいくつかの構成要素に分け、その要素ごとに評価基準を満たすレベルについて詳細に説明したもの*¹です
- 評価基準ごとに点数や達成レベルを割り当てることで、課題に対して定性的な評価に向くとされています

*1: 栗田佳代子(2017) 『インタラクティブ・ティーチング-アクティブラーニングを促す授業づくり-』

2

ループリックの設定

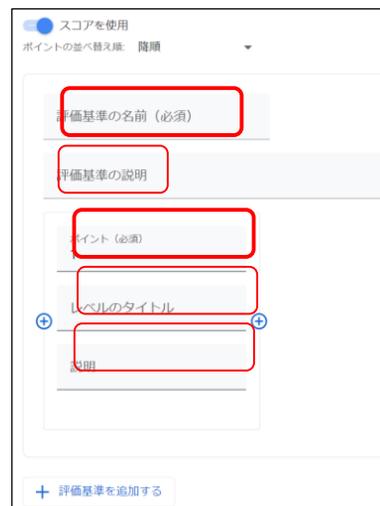
- 課題作成時にタイトルを入力するとループリックが選択可能になります
- **[+ループリック]**をクリックし、**[ループリックを作成]**を選択することで詳細な設定画面に移ります



3

詳細な設定

- 評価基準の名前・説明は課題のどの部分の評価するかを明記します(仮説視点や考察点など)
- ポイントは基準達成時に学生が受け取れる点数です
- レベルのタイトルはポイントに応じたランク(ABCや優良可など)を記入する欄です
- 説明は基準達成の条件を客観的に示したものです(~ができています)
- 左右にある⊕マークで数段階の基準レベルを設置できます



4

詳細な設定

- 課題に対して複数の項目で評価基準を設定する場合は[+評価基準を追加する]を選択し、同様の設定を記入します
- すべての設定が完了したら右上[保存]をクリックすることでループリックの設定が終わります



5

学生から見るループリック

- 学生から見ると、課題の詳細欄に評価基準の詳細や達成時に得られる点数などが表示されます



6

ループリックによる採点

- ループリックを設定していると、基準項目のクリックで採点ができます
- 複数の基準を設けた場合は、100点満点の場合の取得点数も自動計算します



テスト学生	68.89/100
提出済み (履歴を表示)	未提出
落体の運... Word	
ループリック	31/45
仮説	7/10
実践方法 ポイント-A	7/10
結果のまとめ	5/10
考察	7/10
参考文献	5/5